

骨髓バンク 2004年9月 会報 26号

会報発行：骨髓バンクを支援するいばらきの会 <http://ibaraki.marowjp.net/>

発行責任者：牛島英二 編集：小田倉孝夫・山崎揚久

<事務局> 〒311-1415 茨城県鹿島郡旭村造谷605くるみ屋内

TEL：090-8306-7111 / FAX：0291-37-1425 / E-mail：yamazaki@kurumiya.com

茨城夏の陣」で大きな成果！

平成16年度上期登録会終了！

7月～9月にかけて、県内各地で骨髓バンクドナー登録会とチャリティー募金活動が行われました。その結果、合計133名と非常にたくさんの方に登録をいただきました。暑い中、登録会募金活動に参加された皆さん、本当にお疲れさまでした。なお、9月の登録会で無事、平成16年度の上期が終了し、上期の登録者総数は合計227名になりました。登録会に参加されました皆様大変お疲れ様でした。下期も上期以上の登録者を目指してがんばって参りましょう！

開催日			イベント名・登録会場名	登録者数	募金額
月	日	曜日			
7	18	日	骨髓バンクチャリティコンサート 明野町イルブリランテ	-	¥234,340
	24	土	PR&バールーン募金 藤代つつみ幼稚園	-	¥20,428
7	27	火	核燃料サイクル開発機構献血並行登録会	18名	
	29	木	大子町役場献血並行登録会	7名	
8	2	月	陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地献血並行登録会	13名	
	7	土	PR&バールーン募金 石岡サマーフェスティバル会場	-	¥14,533
	19	木	山之内製薬献血並行登録会	23名	
	22	日	PR&バールーン募金 藤代桜が丘自治会夏祭り会場	-	¥28,584
	23	月	牛久市保健センター献血並行登録会	8名	
	29	日	まつりつくば献血並行登録会 つくば献血ルーム	16名	
9	9	木	サンユーストアー磯原中央店 献血並行登録会	14名	
	14	火	ジョイフル本田荒川沖店献血並行登録会	21名	
	15	水	八千代町中央公民館献血並行登録会	13名	

上記中の7月18日の募金に関しましては、骨髓移植推進財団への寄付金として受領いたしました。また、募金金額以外のご寄付等に関しましては最終面の御寄付欄に記載させていただきました。PR及び募金活動にご協力いただきました関係者各位へ感謝申し上げます。

ドナー登録者30万人をめざして！

7月～9月 茨城県内イベント登録会等報告

骨髄バンクチャリティージョイントコンサート開催！！

去る、7月18日明野町イル・ブリランテ（町立中央公民館）に於いて骨髄バンクチャリティージョイントコンサートアマチュアコンサートが開かれました。出演はKaweni O Na Pua（栃木のフラダンス教室の生徒さん）とマインド40（地元明野町のロックバンド）のジョイントです。フラスタジオ代表の飯島さんは骨髄バンクに大変ご理解のある方で、このような舞台の時に骨髄バンクのPRをしたり、その収益金の一部をバンクに寄付したりと言う活動をされています。このフラダンス教室は栃木県小山市を中心に各地に5教室くらいあり、教室ごとにフラダンスを踊りました。マインド40の方々は、地元を中心にバンド活動をされており、音楽を通じて地域の活性化につなげようと音楽活動をされています。当日はベンチャーズのエレキサウンドを中心に会場を沸かせておりました。総入場者数は300人くらいだったと思います。アマチュアのコンサートにしては随分立派な感じがしました。当日は、フラダンス教室の生徒さん達と一緒に入場口でチャンスなどのパンフレットの配布を行い、入場者の殆どの方にパンフレットの配布&PRする事が出来ました。皆さん、バンクのパンフレットを手にとられ興味を持っておられたようです。すべての皆さんに感謝です。コンサートが始まる前に壇上で寄付金の授与（目録）をしていただき、私の方から骨髄バンクのPRを行わせてもらいました。今回の寄付金は財団への寄付となりますが、私の言葉が少しでも多くの方に伝わっていると良いのですが・・・。コンサート終了後、すぐに集計をしていただいて財団への寄付金をお預かりしてきました。その額なんと¥234,340円です！当初、必要経費など差し引き分を寄付と仰っていましたので、5万円前後だと勝手に思い込んでいましたので、封筒を渡されたときには一瞬たじろぎました。飯島さんの方からこのコンサートは今回が最初なので、これを機に恒例行事としたいと仰っていました。今回の寄付金は、手続きの都合上財団への寄付と言うことになりました。次回からは地元のボランティア団体であるいばらきの会と連携を取って進めて行きたいとのことでしたので、来年も期待したいですね。川井さんと小田倉さんにご協力いただきました。ありがとうございました。（細谷栄一）



マインド40コンサート

今年もお世話になりました！

7月24日藤代つつみ幼稚園PR&バルーン募金が行われました。

つつみ幼稚園バルーン募金 暑い中お疲れ様でした。顔や腕 体中から汗が・・・暑かったですね。みなさん ご苦労さまでしたあ

募金は 計20,428円 でした。（川井正一）

つつみ幼稚園のイベントに参加された皆さん、大変お疲れ様でした。全身汗みどろで奮闘していただいた皆さんのご努力に心から感謝します。16時過ぎには園児や父兄が集まりだし、定刻の16時半前にはおまつりが始まりました。私たちもあたふたと園庭に設けられたテントに移動して、本番スタートです。ちょうど西日が真横から私たちを直撃し、風は結構有ったのですがあつという間にできた大行列を前にして間もなく参戦した細谷さんを含む5人総がかりでの戦闘状態がスタートして全員汗だくで対応しました。我々のテントには委員のお母さんがついてくれ

ドナー登録者30万人をめざして！

7月～9月 茨城県内イベント登録会等報告

ました。その方には行列の整理と注文受けをお願いしましたがこれが大正解で、私たちに注文を伝達した後、注文済みの園児をテント脇に移動させ、手際良くこなすことができました。それでも途中でかき氷とビールを園から差入れていただき、正に天の恵みで喉を潤すことができました。おまつりも終盤を迎えて他の模擬店が閉店する中で、私たちのテント前の行列は全く途切れず、日没で薄暗くなってからようやく店じまいとなりました。撤収片付け後に園のホールで園の先生方、実行委員の父兄の方々が集合しての打上げにも私たち全員参加させていただきました。快い疲労感での冷たいビールの味は最高でした（車で参加した皆さんはお茶けだったのが誠に心苦しかったです。私だけ良い思いをしてごめんなさい！）園の若い先生方は昼間からの準備や本番でさぞお疲れだったでしょうに、トン汁、かき氷、やきそばなどを次々に出していただき、お仕事とは言え誠に頭が下がりました。理事長でもある千葉園長先生とも親しくお話をさせていただき、来年もぜひ参加させていただきたい旨を伝えて快諾を得ました。また地元双葉団地の大久保自治会長からも感謝のお言葉を頂戴して、大変ありがたく思いました。私たちを温かく迎え入れていただいた園、ご父兄、団地自治会の皆さんには心より感謝と御礼を申し上げます。募金結果は川井さんのご報告の通り、20,428円で、去年の18,396円（9名参加）を上回り、正に当日参加者全員の汗の結晶です。さらには園から昨年同様3万円のご寄付まで頂戴し、誠にありがたく重ねて御礼申し上げます。

出席は牛島、伊井さん、細谷さん、岡田さん、川井さん でした。
（川井正一・牛島英二）

7月27日核燃料サイクル開発機構献血並行登録会

骨髄バンクドナー登録者18名

献血者67名（受付87名）

説明員参加者：福間さん、川井さん、伊井さん、佐藤（恵）さん、和田さん、山崎夫妻

水戸保健所：悉知さん

登録推進員：佐藤さん（日立献血ルーム）

核関係の施設とのことで期待していた登録会です。午前中は、まばらの献血者でドナー登録は4名の出足でしたが午後に入り、仕事も一段落したのか献血やドナー登録も順調に伸びました結果的に、なかなかの登録会だったと思います。参加された皆様大変お疲れ様でした。（山崎揚久）

7月29日大子町役場献血並行登録会

骨髄バンクドナー登録者：7名

献血者：98名（受付118名）

説明員参加者：川井さん 山崎夫妻 細谷夫妻

登録推進員：澤田さん（水戸献血ルーム）

『滝と温泉のまち』というタイトルからもおわかりいただけるように大子町は、日本三名瀑の一つである袋田の滝、清流で知られる久慈川、茨城県内唯一の奥久慈温泉郷、そして県下最高峰の霊山・八溝山などを有する広大な町です・・・』

これは大子町のホームページ最初の町長のあいさつ文の1部です。

西に進む珍しい台風の影響が朝のうち残っていましたが、登録会が始まるころには日も差し始め程なく大子町の美しい景色が姿を現しました。登録会が始まってみるとやはり（と言うのも失礼かもしれませんが）高齢者の方が多くドナー登録の適格条件に合う方が中々いらっしゃいません。またチラシやパンフレットを見ても興味を示される方はあまりいらっしゃいません。献血者数の割りに登録者が伸びないので、地域によっては登録会の告知の方法など工夫する必要があるかもしれませんね。（細谷栄一）

ドナー登録者30万人をめざして！

8月2日 陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地献血並行登録会報告

骨髄バンクドナー登録者：13名（受付15名）

献血者：103名

説明員参加者：川井さん、細谷さん、牛島

登録推進員：福間さん（つくば献血ルーム）

午前中は献血者、登録者共に少なく、それぞれの伸びが心配されましたが、午後は順調に伸びて上記結果となりました。献血受付の通信状態もまずまずで、受付待ち時間は普通ベースのようでした。登録者数が献血者数に比べて10%程度に止まったのは、勤務中に献血にこられた隊員の方にお薦めしても時間が取れないとの理由で断る方が多かったことによるものです。その方々には県のパンフの裏面登録場所を示して後日お時間のある時に登録をお願いいたしました。また登録された方の中で、献血終了後に受付にこられた方が4、5名いらっしゃいました。その方々には受付で針の二度刺しとなることを説明してご了解いただいた上でご登録いただきました。（牛島英二）



土浦保健所の伊藤さんデビュー戦です。

8月7日 石岡サマーフェスティバルペンシルバルーン募金

8月7日、石岡サマーフェスティバルに参加しました。

石岡イベント参加の皆さん暑い中お疲れ様でした。雷、雨でさんざんでしたが募金はまあまあでした！募金¥14,533円でした。（川井正一）

牛島です。さて石岡イベントに参加された皆さん、大変お疲れ様でした。猛暑の中での13時から21時近くまでの長丁場で、テントの設営片付けまでご協力いただき心より感謝します。

健常人の私ですら相当疲れましたが、他のお三方はいずれも現役or元患者さんですから大変恐縮しております。それぞれご自愛下さい。今年の参加者は12名で募金額も3万を超えましたが、今年は後半で激しい雷雨となり客足が一時全く途絶えてしまい、行列ができることもなく参加者も手持ち無沙汰でした。でもその分、参加者でいろいろと話ができて楽しくもありました。

また前回のつつみ幼稚園では忙し過ぎてできなかったパンフ配布もしっかりとできました。なお、会場では多くの出店で生ビールを300円で販売していましたが、いばらきの会テントの真正面が運悪く酒屋さんで、電車で来た私は暑さに耐えかねて&地元経済の発展に寄与するため缶ビールを正価で購入して、水分補給に努めました。酒屋さんの奥では地元の常連さん風のおじさんたちが昼過ぎから酒盛りを始めておりましたが、私が何度もビールを買いに顔出ししている内に、お友達となりその場で募金をしっかりといただきました。赤い顔のおじさんたちに一応骨髄バンクのレクチャーをしましたが、どの程度理解してもらえたかははなはだ疑問ではありますが、善隣友好に努めて参りました。

帰りのJR車中では一人酒盛りで盛り上がりましたが、翌日はひどい二日酔いであったことをご報告いたします。

参加の方は、牛島会長、福間さん、和田さん、川井さんです。皆様ご苦労さまでした。

（川井正一・牛島英二）

ドナー登録者30万人をめざして！

7月～9月 茨城県内イベント登録会等報告

石岡サマーフェスティバルペンシルバルーン募金風景



「あら？何なのかしら？」

『風船ぐださ〜い！』

8月19日山之内製薬献血並行登録会

骨髄バンクドナー登録者23名（受付24名 1名は時間なしで事前説明扱）

献血者71名（受付88名）

説明員参加者：川井さん、佐藤（恵）さん、細谷みさ紀さん、和田さん

つくば保健所：岩淵さん

登録推進員：福間さん（つくば献血ルーム）

登録率32.4%は、さすが、山之内製薬さんです。

登録会場は食堂でしたが、エアコンは9:30にならないと入らず、15:00頃には切れてしまうという、超省エネ環境でした（職場内は？です）。従業員の方は若い人が多く、ドナー登録率が良かったのは、「若い人」「製薬会社」がポイントだったと思います。製薬会社でも研究所だったので、受付中、難しい質問が有ったようです。「骨髄提供のときに採取する骨髄量は全体の何%か？」こんな質問分かりますか。だいたい採取する骨髄量だって覚えていません。先生に聞きました（今日の先生はつくばルームに2回/週ぐらい来られる先生で、ルームでいつも、「福間さん今日もう終わりましたよ」などと声をかけて下さる、やさしい女医さんでした）、先生も分からないそうです。でも、「すぐに回復するから」との先生の回答を伝えました。社員の皆さんは仕事がいそがしそうで、昼休みの12:40ごろ、時間がないので4人の登録受付となりました。先生も不在でしたので、ゆっくりと受付をしてもらうよう頼みました。先生が13:00前にスタンバイしてくださり助かりました。今日は多くの方に参加していただきましたので、受付がスムーズに行きました。ところで、この研究所はつくば市の方針で、周囲に柵や塀がありません。そのため各建物の出入り口のセキュリティはすごいです。私は最初入ったときに、一時出られなくなってしまいました。（福間究）

コラムひろい読み

「雷の多い年は豊作」とのことわざがある。雷光を稲妻や稲光というのも、稲の穂がその光によって実りを豊かにするという信仰があったからだ。かつては、稲田に落雷があると青竹を立てて注連縄を張るしきたりもあった。科学的には空気中の放電により植物の肥料となる窒素化合物ができるという。古人がそれを知るはずがないし、雷で作柄が左右されたとも思えない。ただ、雷の青白い一瞬の光の中に稲妻の実りの秘密が隠れていると見た宗教的感覚はすごい。雷の恵みといえば、落ちてきた雷神が人に恩恵をもたらす説話も多い。『今昔物語集』には、塔を壊した雷神をお坊さんが経をとなくて捕まえる話がある。泣いて許しを求めた雷はこの地に清水を湧き出させて天に昇る。この雷神は童子の姿だったという。激しい夏の天気も、地球規模のいたずら坊主の仕業とあっては、捕まえてお仕置きをすることもできない。むしろお仕置きの必要なのは地球温暖化をもたらす人の営みの方かもしれない。童子姿の神々の意見をいま、謙虚に聞きたい。（毎日新聞 余録 欄より抜粋）

ドナー登録者30万人をめざして！

7月～9月 茨城県内イベント登録会等報告

8月22日藤代桜が丘自治会夏祭りペンシルバルーン募金

藤代桜が丘自治会夏祭りでのバルーン募金 参加の皆さんお疲れ様でした。暑さの中で喉をうるおしながらのバルーン募金でした。募金は、¥28,584円です。桜が丘自治会様より、寸志¥50,000円をいただきました。

以上、報告いたします。(川井正一)

牛島です。

14時前に会場入りして用意していただいたテントで準備を始めました。テントの正面には主催者側でいばらきの会の名称表示が既に大きく掲示されており、そのご好意に頭が下がりました。ほどなく今回のイベントをご提供いただいた自治会長の村上さんがお見えになり、ご挨拶とお礼を述べることができました。初めは閑散としていた会場も次第に人出が増えて、浴衣姿のかわいいお子さんの手を引いた若い家族連れがたくさん来てくれていつものように賑わいました。バルーン募金では毎度のことながら、バルーンを持った子供が会場を歩けばそれが大きな宣伝効果となり、いわゆる連鎖反応と相乗効果で、あっという間に会場中にバルーン募金のごことが知れ渡り、黙っていても行列ができるという図式です。暗くなって会場中央で盆踊りが始まると人出はピークを迎え、いつものように大忙しのフル回転でした。今回は子供だけの時は募金額を決めず、親と一緒にその親に100円募金をお願いする方式としました。また先日のつつみ幼稚園でお世話になった大久保さんもお見えになり、大額のご寄付を募金箱に入れていただきました。当初の予定では19時までとするつもりでしたが、人出のピークとも重なってとても店じまいする雰囲気ではなく、結局20時頃ようやく終了となりました。今回はこれまでの反省と対策で、あらかじめ大型クーラーボックスに缶入り泡液体を大量に持込んだのですが、当日の天候は気温もあまり高くなり、心地よい風が吹き渡ってあまり汗をかくこともなく、出番は有りませんでした。また村上会長から生ビール・たこ焼き・やきそばを何回も差し入れていただき、さらにすぐ隣のテントが居酒屋コーナーであったため、そこからもチューハイやおでんなどの差し入れも有って、バルーンを作る手が快調だったことは言うまでもありません。次回もこのパターンでお願いできればもう最高です。ところで会場入りしてすぐに、実行委員長と名乗る年輩の方がテトに来られて、私たちの参加趣旨を質問されました。実行委員長とテントの中で椅子に座ってしばらくお話をさせていただいたのですが、なんとその方のご息子が骨髓バンクに登録済みでもし提供することになったら自分は反対すると仰るのです。ご息子は結婚されているので家族の同意はそのご夫人がすることになるのもご存知でした。そこでわたしが、仮にご提供となった場合はご両親が反対のままではご息子の心はきっと晴れないので、是非賛成していただきご息子の善意を祝福していただきたい旨をお話し、最後にはご納得いただけましたようでした。またお一人の骨髓バンク支持者を増やすことができたことが当日の最大収穫となりました。募金額は28,584円で、自治会から5万円のご寄付まで頂戴し、誠に感謝の念に絶えません。私たちを暖かく迎えていただいた自治会、そして団地住民の皆さんには当日の暖かいおもてなしも含めて心から感謝と御礼を申し上げます。(牛島英二)

藤代桜が丘自治会夏祭りペンシルバルーン募金風景



は～い、好きな種類教えて



ウサギに見える?ど～ぞ

ドナー登録者30万人をめざして!

8月23日牛久保健センター献血並行登録会

骨髄バンクドナー登録者8名(受付9名 1名は年令オーバー)

献血者113名(受付132名)

説明員参加者:小田倉

龍ヶ崎保健所:小菅さん

登録推進員:福間さん(つくば献血ルーム)

前日の睡眠時間が3時間であったため朝8時からの市役所職員に対してのチラシ配りの時にはロックダウン気味で福間さんの好意に甘え休ませて頂いた後に日赤の方々の待つ準備を開始し気合を入れたのですが残念ながら午前中はなんと0名で今日はもうだめだろうなと思ったところに市役所職員の方や市役所来訪者などが来て頂き最終的に8名の登録を得られ胸をなでおろしております。献血者も日赤の川田さんの話では前年が70数名だったらしいのでプラス40名はすごい数字だと喜んでおりました。今回の献血者の数が伸びた要因としては

- 1・献血協力団体(牛久市ライオンズ、牛久市法人会)による市役所への協力依頼が行き届いた。
- 2・日赤の車で市内に献血呼び込みの街宣活動を行った。

逆に献血者数に対して登録者が伸びなかった原因としては

1・市役所職員を除く地元の方々は50歳以上の方が今回は非常に多く、5名くらいの方々からは、登録をしたいのだけれど50を過ぎていたのでごめんなさいね!と言われました。

市役所では骨髄バンクの事を朝礼時に告知を行ってくださったようですが中々興味や理解を得られるまでには至りませんでした。しかし、今回の8名の登録者のうち6名が女性の方という点は特筆すべきであろうと思います。また8名のうち2名が常陽リビングをみて登録会を知ったと言う点もすごいことだと思いました。これも福間さんの発想のお陰であろうかと思えます。今後の登録会開催のお知らせをするという意味でのマスメディアの使い方も考慮したいところですね。

(小田倉孝夫)

8月29日まつりつくば献血並行登録会

骨髄バンクドナー登録者16名

献血者48名

説明員参加者:牛島さん、川井さん、佐藤(恵)さん、細谷さん一家、和田さん

福間明子さん、小田倉さん

学生ボランティア 植村さん、小川さん

つくば保健所:飯島衛生課長、高力さん

登録推進員:福間さん(つくば献血ルーム)

朝からのあいにくの雨で、昨年(23名)の記録は抜けませんでした。

ルームへ足を運ぶ方も大変少なかったようです。雨がうらめしい1日でした。

た~~~~くさんの参加ありがとうございました。(伊井義人)



今日はみんなでがんばろう!



こつずいばんくをよろしくでしゅ!!



おねえさん!ヨロシクね!

ドナー登録者30万人をめざして!

7月～9月 茨城県内イベント登録会等報告

9月9日サンユーストアー磯原中央店献血並行登録会

骨髄バンクドナー登録者14名(受付15名)

献血者63名

説明員参加者：瀧さん、佐藤恵子さん、牛島

日立保健所：3名

登録推進員：磯貝さん(日立献血ルーム)

当日は予報に反して好天となり暑い一日でしたが、献血数63名に対してと14名と、まずまずの結果となりました。この

登録会は9月9日救急の日に際して市消防本部が協力実施し

ていただいたものです。消防の皆さんにはテントの設営片付けはもとより、献血とドナー登録にも多くの方々にご協力いただきました。日立保健所からは3名のご参加をいただき、ささやき作戦を男性職員の方に全てお願いしました。また今回の事前広報として、消防関係へのチラシ配布60枚市内全家庭への回覧形式でのチラシ配布1,600枚、血液センターの新聞折込チラシへのコメント追記、など保健所には大変積極的に活動していただき、誠に感謝の念に絶えません。血液センターにはポスターにも「当日は骨髄バンクのドナー登録も受け付けます。」とのコメントを入れていただくなど、誠に頭が下がる思いでした。終了後には消防の責任者の方に「また来年も是非お願いします。」と本音でお願いして会場を後にしました。(牛島英二)



9月14日ジョイフル本田荒川沖店献血並行登録会

骨髄バンクドナー登録者21名(受付23名)

献血者88名(受付61名)

説明員参加者：川井さん、小田倉さん、山崎

土浦保健所：2名

登録推進員：福間さん(つくば献血ルーム)

朝から蒸し暑く、会場は屋外だった為、体力的に厳しい登録会でした。暑いわりには買い物客も多く、献血や骨髄バンクドナー登録も順調に伸び昨年の24名には追いつきませんでした。まずまずの登録会だったでしょう。ジョイフル本田荒川沖店での登録会は店側も理解がありまずし毎年恒例化したいものです。残暑のきつい中、参加された皆さんお疲れ様でした。

9月15日八千代町中央公民館献血並行登録会

骨髄バンクドナー登録者13名(受付15名)

献血者85名(受付100名)

説明員参加者：細谷栄一、みさ紀

土浦保健所：二瓶さん、野口さん

登録推進員：福間さん(つくば献血ルーム)

水海道保健所の方と保健センターの飯島様の事前のPR効果により多くの方々にご登録いただきました。午前中には、特に重点的にPRをしていただいた役場職員の方を中心に、予約の方1名を含め11人の登録を頂きましたが、午後はパタリと波が止まり結局2名でした。

本日の印象は、兎に角朝から骨髄バンクに興味を持っていらっしゃる方が次々にいらっしゃいました。登録は13人ですがそのほかにもご夫婦でいらっしゃった方で、ビデオを見た時点で「妻にここまでのことはさせられないので今回は断念したい」と言う方や、年齢が52歳でご登録いただけなかった方もいらっしゃいました。それともう1人20代の方で新聞か何かの広報をご覧になって日曜日に財団に電話をしたのですが(どういう問い合わせかは聞きだすことが出来ませんでした)、今日は時間が無くて登録できません、と言う方もいらっしゃいました。水海道保健所の二瓶様、野口様、保健センターの飯島様、事前PRをありがとうございました。

(細谷栄一)

ドナー登録者30万人をめざして！

7月～9月 茨城県内イベント等報告

フェニックス in 猪苗代 交流会 参加報告

去る、7月3日、4日に福島県の猪苗代にて行われましたフェニックスクラブの交流会に参加してきました。私は初めての参加でしたが、正直言って、みんなの元気の良さに驚いてしまいました。元 現患者さんの元気の良さは多分、周りのみんなの励ましや支えがあるからなのでしょう。中々参加する機会もありませんが改めてこれから色々な方々の応援になるようがんばりたいと思いました。帰りはみんなと一緒に観光をしながら楽しい時間を過ごすこともできました。(小田倉)
(参加者 : 山崎夫妻、細谷ファミリー、川井さん、佐藤恵子さん、湯本さん、和田さん、小田倉)

いわきの志賀さん夫妻よりコメントを寄稿していただきました。

茨城のみなさん、ありがとうございました～！！』

福島 志賀正弘・としえ

去る7月3、4日、福島県猪苗代町のホテルみなとやに於きまして、血液疾患の患者会「フェニックスクラブ」の交流会を開催しました。北は北海道、南は兵庫県と全国各地より60名を超える参加があり盛大な交流会となりました。茨城からも患者さん・ご家族の方が多数ご参加いただきました。参加いただいた多くの患者さんから「勇気をもらった」「楽しかった」「また参加したい」との感想が寄せられ、発起人としてはとてもうれしいかぎりです。

常日頃から、私たち夫婦の中で、元患者として、今現在病気と闘っている方が少しでも元気付けるために何かお手伝いできないかと考えています。患者が病気に前向きに向かっていけるのは、一人一人が自分の元気な将来の姿を夢見、描くことです。そのためにも現に病気を克服した生の患者さんと話すこと、同じ病気と共に闘う同胞の存在を知ることとはとても重大なことで、患者交流会は正に絶好の機会だと信じています。

今後も全国で治療を受けられる患者さんのためにも患者会の和が広がって、各地で多数開催されることを願っています。

コーヒーブレイク

みなさんが登録会などに使っている命のアサガオですが、アサガオといえばなぜ、朝に咲くか知ってますか？アサガオは夜明けに咲くのですが、我々はそれを朝の光を浴びてアサガオが花を開くのだらうと思いがちですが、アサガオは体内時計を持っていて日の入りから9～10時間経つと咲くのだそうです。しかしある人が研究したところ、そればかりではないようです。光や温かい温度とかだけでは不十分なんだそうです。二十四時間、光をあてっぱなしにしていただけではアサガオの蕾は、開かないそうです。アサガオの蕾は朝の光によって開くのではないようです。アサガオの体内時計だけでなく、夜の時間の冷たさと闇の深さが不可欠なのだそうです。アサガオの意外な神秘さに驚きです！

このことはもしかすると私たち骨髓バンクの話にも当てはまる場所があると思いませんか？現在のように普及するまでには患者さんやその家族または支援しているボランティアが乗り越えてきた「夜の時間の冷たさ=苦しい時期」と「闇の深さ=普及しない時期」がありました。いやまだ乗り越えていかななくてはならないことが多いのかもしれない。そんな我々を支え支援協力していただけるすべてのみなさんの真心が、これからの活動の原動力になって欲しいと思います。これからも大きな大きなアサガオの大輪の花を咲かせるためにも……。

ドナー登録者30万人をめざして！

10月～12月 茨城県内トナー登録会のお知らせ

10月～12月の登録会予定

10・13協和町民総合センター (時間 午前9:30～午前11:30午後13:00～午後15:00)

10・14日立ハイテクノロジーズ (時間 午前9:30～午前11:30午後13:00～午後15:00)

下記登録会予定は詳細が未定なため、詳しくは事務局までお問い合わせください。

10・23、24 大好き いばらき県民まつり 2004 (担当地区普及広報委員 伊井)

11・18鹿島市役所 (担当地区普及広報委員 牛島)

11・29日立電線高砂工場 (担当地区普及広報委員 牛島)

12・22原子力研究所東海研究所 (担当地区普及広報委員 細谷)

登録会の日時及び時間等に関しては変更になる場合がありますので、事前に事務局までお問い合わせください。

県内イベントのお知らせ

10月9日 あの感動を再び！ 骨髄バンクチャリティ公演 『友情～秋桜のバラード～』

6年のロングランとなり今年上演回数300回を迎えた『友情』の公演が本年も各地で上演され茨城県での今年の公演は東海村にて上演されることになりました。

場所：東海文化センター (茨城県東海村大字船場768 TEL029-282-8511)

時間：13:30分開場 14:00開演

当日は会場入り口付近での骨髄バンクの募金活動及びPR活動を行います。是非ともお勧めの公演ですので皆様ご来場ください。ボランティアで参加の皆様は開演時間の1時間前に現地に集合願います。

10月17日 新極真会茨城北支部交流試合会場での募金及びPR活動

日時：10月17日(日)13時～17時

場所：常陸太田市 市民武道館

活動内容：開会式にて寄付金贈呈式に参加

会場内で参加者に県パンフ配布、募金呼掛け

詳細が未定部分があるため事前に事務局にお尋ねください。

10月23日、24日 大好きいばらき県民まつり2004

場所：大好きいばらき県民まつり会場(県庁屋外会場)

時間：AM10:00～17:30分(24日は16:30分まで) 雨天決行(悪天候時は中止)

本年は両日ともにトナー登録会及びバルーン募金での参加になります。

皆様お誘いあわせの上ご来場下さい。また、当日お手伝い頂ける方も募集しております。参加して頂ける方は開始30分前にお集まりください。

各イベントに関しましては、事情により変更されることもありますので、事前に事務局までお問い合わせ下さい。また年末に向けイベントが多数開催される予定もありますので随時、事務局よりご案内させていただきます。

トナー登録者30万人をめざして！

骨髄バンク関連トピックス

厚生労働省の臓器移植対策関連の予算概算要求が提示されました。 (臓器移植対策室 発信)

	概算要求額	(前年度予算額)
1. 造血幹細胞移植対策	1,986百万円	(1,828百万円)
2. 骨髄移植対策	1,298百万円	(1,202百万円)
<概要>	千円	千円
(1) 骨髄移植対策事業費	493,090	(448,711)
(骨髄移植推進財団)		
新・骨髄提供登録者フォローアップ事業	32,281	(0)
改・普及広報委員・説明員研修費	15,431	(3,841)
改・説明員活動旅費	18,779	(7,546)
(2) 骨髄データバンク登録費(日本赤十字社)	802,153	(750,575)
検査対象人員の増(30,000人分 33,000人分)		
(3) 医療施設等施設整備費(医政局指導課計上)		
特殊病室施設		
3. さい帯血移植対策	689百万円	(626百万円)
<概要>	千円	千円
(1) さい帯血移植対策事業費(日本赤十字社)	688,600	(625,691)
新・さい帯血の安全な管理に係る費用の補助	62,820	(0)

MONTHLY REPORT 9月号発行：骨髄移植推進財団事務局

10月は骨髄バンク推進月間、全国大会を開催します

10月は国が定める「骨髄バンク推進月間」です。今年度の全国大会は、骨髄バンク推進月間最終日の10月31日(日)午後2時から、東京都港区の慶應義塾大学三田キャンパス西校舎ホールで開催します。同日同キャンパス別会場ではコーディネーター、地区普及広報委員の研修会も実施する予定です。ドナー登録者数20万人と6000例の移植到達を目前に控え、ドナー登録者へのサポートと多くの患者さんを救済することを再確認する場にしたいと思います。全国の関係者の皆さまのご参加をお待ちしています。

2 全国骨髄バンク推進連絡協議会がドナーサポート事業を開始

9月1日から、特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会によるドナー登録者や登録希望者を支援するための無料電話相談が始まっています。骨髄提供の際の危険性や日常生活への影響、家族の同意などについての質問や相談に、実際の骨髄提供者が体験を通して説明することで、ドナー登録者の不安を和らげようというものです。電話相談は0120-892-106 月曜から金曜の午前10時から午後5時まで受け付けます。

3 全国知事会が各道府県知事あてに依頼文書を発出

全国知事会(会長：梶原拓岐 岐阜県知事)から9月7日付けで「骨髄バンク事業の推進について(依頼)」通知が各都道府県知事あてに発出されました。内容は、1)赤十字血液センターにおける骨髄バンクドナー登録受付及び募集業務の促進、2)各都道府県における連絡協議会の設置等の2点です。関係者各位のご理解に、厚くお礼申し上げます。

ドナー登録者30万人をめざして!

骨髄バンクのボランティアを応援してください

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。なお、ご面倒でもご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義 00110-3-127575

加入者名義 骨髄バンクを支援するいばらきの会

事務局より

事務局からご協力をお願い

先日、ホームセンターにて手頃なテントを見つけましたので1張購入いたしました。サイズは3m×3m 幕は一辺のみ付いています。てっぺんには吹き抜けがあり風通しが良いです。組み立てや片付けはひとりでも何とか大丈夫ですし重さもゴルフバック程度で女性でも持ち運びが出来ます。収納袋付。高さも2段階調整可能。イベントや登録会には活躍しそうです。使用希望の方は事務局までご連絡ください。

16年度年会費納入のお願い

皆様からの会費は大切な運動資金です。有効に活用致します。また善意のご寄付もよろしくお願い申し上げます。 年会費 一口 2,000円 何口でも

心のこもったご寄付をありがとうございました。(2004.7.1~8.31)

飯島由喜さん 10,000円/ 宮崎茂子さん 5,000円/ 立原三郎さん 3,000円/ つつみ幼稚園 30,000円/

桜ヶ丘自治会 50,000円

お寄せいただいたご寄付のうち、会費未納の会員からは会費(年2,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)登録者数:194,742人(県内3,660人)

骨髄移植希望者(患者数):2,661人(県内39人)

バンクを通じての移植例数:5,809例(県内移植数108例、県内採取数95例)

(2004年8月末現在)

編集後記 平成16年度の前半戦も無事終了し一息つけたいところですが後半戦も各登録会、イベントなど目白押しようです。次号は10月から年末かけての報告も兼ねての新春号の発行となります。是非とも皆様お楽しみにお待ちください。それまでに編集人もダイエットに努めイラストがタヌキからもっと細身のものになりたいと思います。(小田倉孝夫)



特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会

骨髄バンクのお問い合わせは 0120-892-106、office@marrow.or.jp、http://www.marrow.or.jp まで

患者電話相談 白血病フリーダイヤル 0120-81-5929

毎週土曜日 10:00~16:00 *毎月第2・第4土曜日は血液専門医もご相談をうかがいます

ドナーサポートダイヤル0120-892-106月曜から金曜の午前10時から午後5時まで受け付けます

(財)骨髄移植推進財団 ホームページ http://www.jmdp.or.jp

ドナー登録についてのご質問 お問い合わせは

財団フリーダイヤル 0120-445-445 または ドナーズネット http://donorsnet.net まで

ドナー登録者30万人をめざして!